

# 『巨大空港』

鎌田 歩／著 福音館書店



とっても大きな空港の1日を紹介する本です。大きな飛行機が空港に着いたら1日の始まり！みんなを安全に飛行機に乗せるために空港で働いている人は荷物の検査をしたり、飛行機の安全確認をたくさんします。夜おそくになってもまだまだ空港は動きつづけます。最後の最後に滑走路の

点検をしてやっとお

わり。もうすぐ朝です。



# 夏のおてがみ

富田林市立図書館から

3年生\*4年生のみなさんへ

2020年

今年の夏もあついな。

どこにでかけようかな。

海？山？

本の世界にもでかけてみてね。



# 『ぼくんちの海賊トレジャ』

柏葉 幸子／作 野見山 響子／絵 偕成社

良太が学校から帰るとき、「ドーン」とものすごい音がした。雨と一緒に空からなにかがおちてきた。みると良太の家の屋根に、黒い帆船がのっている。帆船の帆布にでてきた海賊は、「ここが、この世の果てか！それなら、おまえ、たからもの、もってるだろ？」とわけのわからない事を言っている。良太と海賊のたからものさがしがはじまる。



# 『つながる』

長倉 洋海／著 アリス館

著者が世界各国で出会った人たちはみんな、まわりとつながる「根」をもっていたそうだ。地上の変化に簡単に影響されない根っこは、祖先や自然、社会、家族などにつながり、目の前の困難を乗り越えるためのものであり、未来に命をつなぐためのものでもある。きみは、どうやって「根」をもち、どのようにのばしていくのか。



# 『サメだいすきすいぞくかん』

ともなが たろ／絵 なかの ひろみ／文 仲谷 一宏／監修 アリス館

サメすいぞくかんへようこそ！トンカチ館長の案内で、すいぞくかんに入るよ。きれあじばつぐんのギザギザの歯、ごまつぶくらの小さな歯はどのサメのものかな？目や耳、鼻やうろこのひみつや、およぎかたを勉強するよ。サメのしゅるいによって、たべるものがぜんぜんちがう。サメのこと、もっと知りたくなっちゃうね。



# 『かわうそモグ』

小森 香折／文 長谷川 義史／絵 BL出版

「ぜったいぜつめい」でないと人間に化けてはいけないと言われていたかわうそモグ。うなぎを食べたいあまり、かわいい人間の娘に化けたが化けの皮がはがれた。人相の悪い男にみそなべにされそうになったとき、にいちゃんのアオメが助けてくれたのだった。



# 『ソフィーとちいさなおともだち』

パット・ジトロー・ミラー／ぶん アン・ウィルストルフ／え 二宮 由紀子／訳 光村教育図書

ソフィーに、新しいともだちができました。パパとママと行ったファーマーズ・マーケットで買った、小さなかぼちゃです。マーカーで顔をかいて、バーニスという名前をつけました。パパとママに、くさるから早く食べましようと言われても、ソフィーとバーニスは、ねる時も、としょかんへ行くのも、あそぶ時もずっといっしょです。



# 『しあわせなハリネズミ』

藤野 恵美／作 小沢 さかえ／絵  
講談社

ひとりがへいきで、思ったことをそのまま口にしてしまうハリネズミ。うさぎがバラの花かざりをほめてほしくて「にあわない」と、言葉までもチクチクしています。ある日、「たべられないし、やくにもたない」どろだんごを作るもぐらにであいます。ハリネズミもまた、だれにもみせないで作っているものがありました。



# 『ハヤクさん一家とかしこいねこ』

マイケル・ローゼン／作 トニー・ロス／絵  
ないとう ふみこ／訳 徳間書店



ハリーのおとうさんとおかあさんはいつでも「早く！早く！」と言っておおあわてです。ある日おとうさんとおかあさんはあわてすぎて、ハリーを学校へ送るのをわすれてしまいました。ハリーの家にはもう一人家族がいました。ねこのトラーです。トラーはハリーを助けるために家をとびだしておとうさんを追いかけます。



# 『チェックポ』

おばあちゃんがくれたたいせつなつつみ  
イ・チュニ／ぶん キム・ドンソン／え  
おおたけ きよみ／やく 福音館書店

オギのかばんは、チェックポとよばれる一まいのぬのでした。友だちのダヒが、新しいかばんをじまんしチェックポをけなしたので、二人はつかみあいのケンカをします。チェックポをみじめだと思ったオギでしたが、おばあちゃんがまごころをこめて作ってくれたことを思い出します。そのあとチェックポが思わぬことでやくに立つのです。



# 『みつけた！りくのいきもの』

谷本 雄治／文 石森 愛彦／絵  
童心社



トカゲやヤモリ、ネズミ、カラスにツバメ。町にはいきものがいっぱい。みんなも家や学校のマわりで見つけたことがあるよね。でも、くわしく知らないことはまだまだあるはず。この本には、そんな身近ないきもののおどろきのとくぎやくらしかたがかかっているよ。読めば、いきものたちとの出会いがきっともっと楽しくなる！



# 『韓国のむかしばなし イワシ大王のゆめ』

チョン・ミジン／再話 イ・ジョンギョン／絵  
おおたけ きよみ／訳 光村教育図書

海の中にはいろいろなすがたのいきものがいます。片方に目がよっているヒラメ。腰がまがっているエビ。なぜそんなすがたになったのか、それはむかしむかし三千年もいきているイワシ大王が、ふしぎなゆめをみたことからはじまります。そのゆめは、天たかくとびあがるとすぐおちたり、雪のあとすぐおひさまがてりつけるのです。



# 『はじまりはたき火』

火とくらししてきたわたしたち  
まつむら ゆりこ／作 小林 マキ／絵  
福音館書店

電話や自動車の運転、コンピューターの検索など毎日の生活で使われるエネルギー。この本には、人がたき火をとおして便利な暮らしができるようになっていく様子が描かれています。当たり前と思っているエネルギーですが、実は限りがあります。ゆたかな暮らしを続けるためにわたしたちができることを見つけてみましょう。

